



# ちいさいなかま9月号(No.743) 内容紹介NEWS

2023/8/23 (水) 大阪保育運動連絡会



ちいさいなかま(通称「ちいなか」)は「保育者と父母を結ぶ雑誌」です。  
なので…。一つのテーマで必ず、保護者と保育者の思いや意見が掲載されています。」

## 〈表紙紹介〉

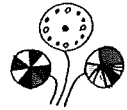
まず、ちいなかの表紙から見てください。  
実はこの表紙の絵にはお話があります。  
p4に「表紙のおはなし」のページがあります。  
表紙は子どもと楽しんでください

p1は子どもが発したかわいい言葉が紹介されています。

ぜひ、我が子との会話も投稿してください  
結構、大阪の子どもが載っています。9月号も大阪です。おじいちゃん  
が投稿したようです。

p2・3は保育園紹介。

とにかく子どもたちがかわいいです。



## 〈読者のページ〉



このページがおもしろい!  
「パパとい」「おほし」「とんとん」「みここんちゃん」「空  
の魚」などのペンネームで大阪の人たちが声も結構載っ  
ています。

9月号ではおほしさんの「先生、ありがとう」が保育者の  
やさしさが伝わってきます。

## 9月号の特集は

### 「ヘトヘトです。仕事と子育て」

このページでも大阪の保育関係者の声がたくさん載っていま  
す。

1日の時間が足りない、厳しい保護者・保育者の状況がよくわ  
かります。以前よりお父さんの家事・子育て参加も増えたのかも  
しれませんが、やっぱりお母さんの負担が重いのだという事が、  
よくわかります。

大阪のお母さんがお父さんへの不満を載せているのも「わか  
るわー」という感じです。

毎月の特集では保護者と保育者の意見が載せられ、その後に  
研究者などの小論でまとめられています。

9月号は名城大学の箕輪先生の小論「働く保護者たちの子育  
てと暮らしはなぜ苦しいのか」が少し長い文章ですが、

載っています。「なんで毎日ヘトヘトなのか」自己責任では解  
決できない問題がよく分かる内容です。

p68「家庭教育」をめぐって何が起きているのか

### 「新興宗教の信者になぜ、 女性が多いのか？」

特集と関連している記事で興味深いです。  
「どうして新興宗教に女性が多いのか？」  
少しだけネタばれすると、「子どもが3歳になるまで母親  
は働くべきではない」という「3歳児神話」が女性たちを  
家庭においやり、新興宗教の勧誘ターゲットになりやす  
かったと考えられるのでは…」

p72「医療の視点から子どもの権利を考える」

### 「ジェンダーギャップと寿命の関係」 男性が長生きできる社会って？

この記事も特集と関連していておもしろいです。  
男女平等社会と寿命の関係をデータをもとに執筆者の武内  
先生が分析した内容です。ちょっと難しいですが、結論は「男女  
平等の社会は男性にとっても安心できる社会」なのです。なんと  
日本は女性の平均寿命は世界第3位。男性は7位です。そして男  
女の寿命の差が大きい国だそうです。

## その他の記事は…

p47「鮭のちゃんちゃん焼き」  
作ってみよう!と思うレシピです。

p57 子育て憲法  
大保連の会長、菅野先生が書いています。  
毎月、子育てや私たちの身の回りのことと憲法をつなげて  
書いてくれているので、憲法が身近になります。

p59 保育・子育ての悩み相談  
今月は3歳児の我が子の困った行動についての相談

